

平成 23 年度文化庁メディア芸術祭国内巡回事業

文化庁メディア芸術祭ネットワークス

神戸巡回が、10月1日（土）より「神戸ビエンナーレ 2011」内で開催！

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業では「文化庁メディア芸術祭ネットワークス」と題し、全国の美術館やフェスティバルを巡回し、受賞作品の展示や上映を行うことで文化庁メディア芸術祭の魅力を紹介しています。

10月1日から始まる「神戸ビエンナーレ 2011」において、「文化庁メディア芸術祭ネットワークス」神戸巡回を開催します。神戸巡回では、文化庁メディア芸術祭のエンターテインメント部門に焦点をあて、今年2月の受賞作品展に展示された作品を中心に紹介します。コンピュータゲームの中で自分の身体を使ってスポーツする『e スポーツグラウンド』や、物理的な接点が無いのに倒れていく『エスパードミノ』、カラクリ付きのペーパークラフト『紙のからくり カミカラ 恐竜編』など、さまざまな作品を実際に体験することができます。

また、第14回文化庁メディア芸術祭の映像作品も上映します。アート、エンターテインメント、アニメーションの各部門から選ばれた、新しい視覚体験や表現の幅の広がりを感じさせる作品を集めたプログラムです。

開催概要

名称：平成 23 年度文化庁メディア芸術祭国内巡回事業 「文化庁メディア芸術祭ネットワークス」
主催：文化庁
共催：岡山市デジタルミュージアム、COMITIA、神戸ビエンナーレ 2011、長崎県美術館
協力：TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING、せんだい演劇工房 10-BOX
事務局：CG-ARTS 協会（財団法人画像情報教育振興協会）

神戸巡回

会場：神戸ビエンナーレ 2011
神戸ハーバーランド・ファミリオ会場 2F
会期：10月1日（土）～11月23日（水・祝）※会期中無休
開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
観覧料：神戸ビエンナーレ会場券
（神戸ハーバーランド＋兵庫県立美術館共通、2日間有効）
大人1,200円（前売1,000円）
大学生・シルバー500円（前売400円）
※高校生以下・障がい者（介護者1名まで）無料
※前売券の発売は9月30日まで
アクセス：〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-3-3
・JR神戸線「神戸駅」徒歩3分
・神戸高速「高速神戸駅」（阪神電車、阪急電鉄、山陽電車乗り入れ）徒歩5分
・神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩3分
お問合せ：CG-ARTS 協会 文化事業部 03-3535-3501



他巡回情報は決まり次第、Web サイト「文化庁メディア芸術プラザ」
<http://plaza.bunka.go.jp/> でご案内します。

■ 広報に関するお問合せ先

CG-ARTS 協会 文化事業部 岩佐・木村 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 <http://www.cgarts.or.jp/contact/>

展示プログラム



『e スポーツグラウンド』
犬飼 博士

©エウレカコンピューター株式会社

■メイン展示：

コンピュータゲームが投影されたステージで、身体を使って直感的に遊ぶ『e スポーツグラウンド』を中心に、昨年度のエンターテインメント部門審査委員会推薦作品を展示します。実際に作品を体験できる貴重な機会となります。



『エスパードミノ』
須木 じゃらし

©須木 じゃらし



『紙のからくり カミカラ 恐竜編』
中村 開己

©中村 開己

上映プログラム

第14回文化庁メディア芸術祭の優秀な映像作品も上映します。アート、アニメーション、エンターテインメントの各部門から選ばれた、新しい視覚体験や表現の幅の広がりを感じさせる作品をお届けします。

※毎日90分プログラム×5回限定上映



1. ©石田 祐康



2. ©ピクチャーエンタテインメント株式会社
/株式会社ヒップランドミュージック



3. ©ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ



4. ©和田淳/東京藝術大学



5. © Beomsik Shimbe Shim, all rights reserved

上映作品：『フミコの告白』 石田 祐康（アニメーション部門優秀賞）画像1

『アルクアラウンド／サカナクション』 関 和亮（エンターテインメント部門優秀賞）画像2

『夏を待っていました／ amazarashi』 YKBX（エンターテインメント部門優秀賞）画像3

『わからないブタ』 和田 淳（アニメーション部門優秀賞）画像4

『The Wonder Hospital』 Beomsik Shimbe SHIM（アニメーション部門奨励賞）画像5

『CITY』 KIM Young-geun / KIM Ye-young（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『The Homogenics』 Gerard FREIXES RIBERA（アート部門審査委員会推薦作品）

『Rush』 Maarten ROTS（アート部門審査委員会推薦作品）

『factory of dream- 夢を作る工場』 ユーフラテス（アート部門審査委員会推薦作品）

『海からの使者』 のすふえらとう（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『くちやお』 奥田 昌輝（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『Locus』 横地 政樹（アート部門審査委員会推薦作品）

『Shading』 飴田 慎士（アート部門審査委員会推薦作品）

『魚に似た唄』 竹内 泰人（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『Pico / SJQ』 土屋 貴史（TAKCOM）（エンターテインメント部門審査委員会推薦作品）

『ラストピース 花沢悦子編』 水野 貴信（エンターテインメント部門審査委員会推薦作品）

■文化庁メディア芸術祭について

「文化庁メディア芸術祭」はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどを対象にしたフェスティバルで、今年で15回目を迎えます。第14回では世界49ヶ国・地域から2,645作品の応募があり、受賞作品展には70,126名の来場がありました。今年度の受賞作品展は国立新美術館にて平成24年2月22日（水）から3月4日（日）まで開催します。 <https://bunka-jmaf.jp/>